市立武蔵野会館　　第２０号

あいスポットプレス

発行元　市立武蔵野会館運営協議会
責任者　会長　小野正敏
事務局　昭島市市民部生活コミュニティ課　042-544-5111

CONTENTS

Ｐ１．会長挨拶、活動日誌
Ｐ２．会館まつり特集
Ｐ３．防災問題の取り組み
Ｐ４．委員会活動報告他

ごあいさつ

市立武蔵野会館運営協議会 会長　小野 正敏

新しい年に寄せて

新しい年を迎えごあいさつ申し上げます。

皆様方には、平素より武蔵野会館運営協議会の諸活動に対し深いご理解とご協力をいただき、心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年は、多くの自然災害に見舞われました。３月１１日の東日本大震災と津波、原発事故（自然災害？）、異常気象による豪雨、ノロノロ台風による洪水等により、多くの尊い命と貴重な資産が失われました。

これらの災害で被害を受けられた方々に対し哀悼の意とお見舞いを申し上げます。

また、欧州で発生した国債に対する信用不安をきっかけにした金融危機と為替の不安定により、ようやく立ち直りはじめた世界経済と日本経済もスローダウンし、私たちの活動にとっても、これからの数年間厳しい状況が続くと考えていますので、課題達成の効率化に更なる努力が必要とされます。

昨年の東日本大震災の経験から、地域活動と地域の人々の繋がりの大切さが再認識され、11 月末にだされた東京都の防災対応指針にも、地域における各団体の連携の再生による防災組織の強化がうたわれています。

本年からスタートする「（仮称）防災・見守り委員会」も地域の各種団体と連携の基に、自助・共助を中心にした、防災意識の啓発活動と、地域の防災上の問題点の洗い出しを行い、地域の団体と話し合いの上、できるところから手を付けていくことで活動を始めたいと考えています。

本年も「安全まちづくり」委員会、「美しいまちづくり」委員会をはじめ、四つの委員会を中心にした活動を通じ、地域の絆を深めてまいります。

また、皆様方にとりまして地域の絆づくりのセンターとしての会館を、さらに使いやすくすべく運営してまいりますので、協議会の諸活動に対し皆様方のご理解と積極的なご参加をお願いいたします。

本年一年、皆様方のご健勝とご活躍を祈念いたします。

２３年活動日誌

１１月	２日	役員・実行委員による会館まつり準備
	３日	第６回会武蔵野会館まつり
	８日	武蔵野通り植栽準備作業
		武蔵野小学校放課後子ども教室委員会
	９日	定例役員会
	１８日	武蔵野小学校児童と一緒に武蔵野通りの植栽
	２４日	武蔵野小学校愛校の日清掃活動
	２８日	中神駅北口でのクリーン・美化キャンペーン
１２月	１日	ゴミのポイ捨て・犬の糞防止看板選定会
	１０日	防災問題・独居世帯見守り準備委員会
	１３日	青パト運転協力者と警察・市との連絡会
	１４日	役員・理事会
		あいスポットプレス編集会議
１月	１１日	定例役員会
	１６日	あいスポットプレス編集会議
	２０日	あいスポットプレス発行

第６回 武蔵野会館まつり

１１月３日（木・祭）に第６回武蔵野会館まつりが開催されました。開会式の後、各種アトラクション、バザー、模擬店、展示、お茶席等、日頃の成果をご披露しました。なお、動員数は７００名と盛況でした。

深めよう地域の絆

テープカットでスタート

模擬店など屋外風景

ぷーやんのバザー

つつじが丘北小のお琴演奏

武蔵野小課外音楽クラブの合唱

瑞雲中の吹奏楽演奏

わかばの会のお茶席

美富士会の優雅な踊り

カナニフラサークルのフラダンス

多良実行委員長のご挨拶

参加者の皆様、ありがとうございました。昨年、１１月３日に開催さました「武蔵野会館まつり」は、例年通りにたくさんの方にお集まり頂きました。

昨年から、まつりのサブタイトルに「深めよう地域の絆」を掲げています。今回は、震災に関するパネル展示や防災に対応する協議会の新たな取り組みを発表する場ともなりました。

３月１１日の東日本大震災に配慮し、自粛された行事もありました。協議会では、被災地からの報告に、救助された方の７割強が、近隣の方に助けられたと言う事例を受けて、開催を決めました。いざというときに、地域の絆が、とても大切であると考えたからです。

皆様のご支援ご協力により「第６回武蔵野会館まつり」を無事に開催できましたことに、感謝申し上げます。

市立武蔵野会館運営協議会「防災問題の取り組みについて」

１.「地震の発生確率はこんなに高い」

平成２３年3月１１日 M9.0 最大震度７の東日本大地震の惨状を目にして以来、防災意識が高まり、全国各地で地域住民の自発的な取り組みで防災対策が進められるようになりました。

私たちが暮らす関東地域は、大地震の危険性は高く「地震調査研究推進本部」は、２０３６年までの発生確率を下記のように発表しています。

名　称	震 源 域	発生確率	地震の規模
首都直下型地震	東京湾北部	７０%	M7.4※
東海地震	静岡県西部沖	８８%	M8以上
東南海地震	三重県北部沖	７０%	M8以上
茨城沖地震	茨城県沖	９０%	M7.2以上
房総沖地震	千葉県房総半島沖	３０%	M9.0

※首都直下型地震については、見直しが進められており、地震の規模は、更におおきなものに修正される可能性があります

いずれも震源域の震度は、7.0、昭島市域の震度も５強から６弱と想定されます。
震度５強以上の地震では、自分の意思で行動することができなくなり、家具の転倒・落下 樹木・電柱・塀の倒壊・家屋の損壊・道路の陥没・停電・断水などが想定されます。

２.「防災まちづくり」に住民みんなで取り組みましょう」

防災の基本的な考え方としては、日常的な生活圏(中学校校区程度)を基本に災害における地域の弱点を見つけ事前に対策を講じておくことが大切といわれています。

私たちが暮らす昭島市自治連第１５・２０ブロック地域にも、災害時の避難場所・簡易備蓄倉庫・貯水槽などが配置されていますが、避難場所一つをとっても個々の住民には何処の避難場所に避難すべきなのか周知・徹底されていない現状です。

避難訓練・避難場所の振り分け・避難場所への誘導・避難場所の運営・避難物資の配付などは、個々の自治会単位での取り組みでは互いに利害関係があり取り組みが進まない恐れがあります。

私たち市立武蔵野会館運営協議会は、この地域の新しいコミュニティ活動のひとつとして昭島市自治連１５・２０ブロック地域の自治会・老人会・中神工業団地協力会・中神北口商店会・学校・災害ボランティアなどと連携・協議を重ね関係機関の指導を得ながら「防災まちづくり」を進めたいと考えています。

今後も「あいスポットプレス」・自治会・老人会等を通じて災害への備え・避難場所の見学・避難経路などの情報を提供してまいりますので「防災問題の取り組み」についてご理解とご支援をお願いいたします。

昭島市自治会連合会・主催『防災講演会』のお知らせ

１．開催日時：平成２４年2月１１日
２．入場開始：９時１０分　　講演会開始　９時３０分（終了１１時３０分予定）
３．開催会場：昭島市市民会館　大ホール
４．テ ー マ：『自主防災組織はイザの時の為に、平常時に何をすべきか』
　　副題　～『近助の精神』が、地域の絆のキーワード～
５．講　　師：山村武彦氏（防災システム研究所所長）
６．参加対象：昭島市内の自治会長はじめ自治会（自主防災）の役員の皆様
　　昭島市内のマンション管理組合の役員の皆様

・・・主催者からひとこと・・・

皆様の自主防災組織は、非現実的で形式的になっていないでしょうか？
東日本大震災を身近に経験した今、自治会長（自主防災組織リーダー）、地域の防災役員として、日頃何を心がけるべきかをお互いに検証をし、今後の地域防災への取り組みとして、具体的なヒントとなる講演となると思います。多くの役員の皆様と一緒にご参加ください。

～美しいまちづくり委員会の活動～

１．第９回クリーン・美化運動キャンペーンと清掃活動

１１月２８日（月）中神駅北口広場にて実施しました。ティッシュペーパー1000ヶ配布とマナーアップの呼びかけ、周辺のごみ収集を実施しました。各団体と協議会役員の計１８人の参加でした。

２．武蔵野通り通学路の植栽

１１月１８日（金）、２～４時限を使って武蔵野小学校５年生と一緒に冬用の花（キンギョソウ、パンジー、アリッサム、ノースポール、合計700株）を植えて美しい通学路ができました。

みんなで大切に見守りましょう。

３．マナーアップ看板の作成

武蔵野小学校児童に依頼し、９点の応募作品がありました。近々、武蔵野通り通学路の花壇に掲示します。

なお、優秀作４点を増刷し、各地区でのマナーアップに活用させていただきます。

～安全まちづくり委員会の活動～

青パト運転者と昭島警察・昭島市担当者との連絡会を開催しました。

平成２３年１２月１３日（火曜日）に青パト運転協力者と昭島警察生活安全課福元課長代理、昭島市生活コミュニティ課市民活動推進係小林係長、職員の内野氏をお迎えして、青パト運転者連絡会を開催しました。

連絡会では、福元課長代理から市内の刑法犯罪の発生状況や警察の対応・取り組みについて、又、小林係長と内野氏からは青パトの安全運行の方法と留意点を示したマニュアルの報告があり、内容の説明を受けました。項目の一つひとつが大切であり、十分留意しながら運行する必要性を再認識しました。

また、運転協力者の方々からは、防犯あるいは交通安全に対する広報テープの充実を図る必要性が提案され、今後更に検討してゆくこととなりました。

まとめに、今後も初心を忘れずに青パトの運行を通して、安全運転を心がけ、地域の安全・安心なまちづくりを目指して活動の継続を申し合わせました。

来年度からは、軽自動車青パトが投入される予定です。いっそうきめ細かなパトロールができると思います。

なお、青パト運転協力者を常時募集しております。ご協力していただける方は会館事務室（０４２-５００-４３２０）までご連絡ください。

編　集　後　記

明けましておめでとうございます。

今年は辰年です。十二支の中でただ一つ架空の動物です。夢のある年にしたいものです。夢は見るだけでなく、叶えるものであるという言葉に感銘を受けます。

今年はオリンピックが開催されます。多くの夢を叶えてほしいものです。

今回は、予算の都合で、カラー印刷ができませんでしたが、それなりに見やすいよう工夫をしたつもりです。またカラーで発行できるよう、編集委員一同努力しますので皆様のご理解とご協力をお願いします。

（編集委員一同）